

# 「大学教育研究フォーラム」創刊にあたって

塚田 理

まず始めに、「大学教育研究フォーラム」の発刊を心からお喜び申し上げます。

全学共通カリキュラム運営センターが発足して以来1年余りが経過し、この間いくつもの困難を乗り越えて着々と教育改革を進めるためにご尽力いただいた多くの教職員の方々に感謝と敬意を表したいと思います。全学共通カリキュラムの重要性はここであらためて申し上げるまでもないことですが、何と云っても本学の建学の精神と歴史、そしてそれらを受け継いだ本学の教育の特色を示す上で、全学共通カリキュラムの果たす役割はどれほど強調しても、し過ぎるということはありません。

今日、大学はその生き残りをかけてしのぎを削る時代に入ったと言われるほどの厳しい状況下に、種々の大学改革の努力が重ねられていることは周知の通りであります。ことに、大学院教育の充実と発展に力をいれている大学が少なくありません。しかし、こうした今日的要請にこたえるためには、学部教育を充実させることが前提となるのではないのでしょうか。本学がその教育の原点とも言うべき学問研究の深みと広さの基礎を固めるとともに、優れた教養を備え人間的にも成熟した卒業生を社会に送り出すことのできる全人教育を実現する上で、全学共通カリキュラムの発展は不可欠であると私は考えます。

今や、以上のような重大な課題を我々全教職員がともに担っていかうと決意したわけですから、大学教育の根幹にかかわる教養教育についての討議や情報交換が様々なレベルできかんに行われることがますます重要となるのは申すまでもありません。このたび、「大学教育研究フォーラム」がまさにそのための機会を提供する雑誌として発刊されることになりましたが、その意義は深く大きいと言わなければなりません。期待をこめて、本誌の発刊を歓迎するものであります。

(立教大学 総長)